

令和8年度 大河原・仙台教育事務所管内

子育てサポーター養成講座

今年度も、大河原合同庁舎と仙台合同庁舎を会場に、子育てサポーター養成講座を実施しました。

この講座は、幼児や小学生、中学生の子供を持つ親に対して、子育てやしつけなどについて気軽に相談に応じたり、アドバイスを行ったりする人材を養成するものです。

3名の講師の方々には、子育て支援・家庭教育支援に必要な基礎知識と実践についてお話いただきました。受講者は、今日的課題について理解を深めるとともに、笑いあり、感動ありの有意義な時間を過ごしました。

今年度の講座を修了した受講者には、修了証が手渡されました。今後、家庭教育支援・子育て支援の場で、これらの学びを生かしていただきたいと思います。

5/27(水) 第1回:領域1「家庭教育支援の理解」



親業訓練協会親業インストラクター

波多野 ゆか 氏

【第1回：参加者の声】

- 時代の変化に伴い多様性を理解したうえで、一人一人の環境に合わせ寄り添い、支援していくことが必要だと感じました。
- 「聴く」ことについて改めて気付かされる話がたくさんありました。話を聞き終わる前に推測して話を進めてしまうことがあるので、反省いたしました。聴く力を意識して身に付けていきたいと感じました。
- 初めて家庭教育を担当し、一番気になっていた家庭教育支援と子育て支援の違いを知ることができて良かったです。子供が子供らしく生きていくために、親への教育機会や支援が必要なことも分かりました。

6/10(水) 第2回:領域2「親子の理解とかかわり方」



尚絅学院大学
心理・教育学群 子ども学類
教授 相馬 亮 氏



【第2回：参加者の声】

- 絵の描き方という新しい視点から子供の発達を理解できることができ、大変勉強になりました。大人の声掛け一つが子供の想像力や可能性を狭めてしまうということを改めて認識しました。
- 子供の絵から見える発達段階と、保護者の声掛けについて、とても分かりやすく、驚きの多い研修内容でした。自分の周りの大人にも、この学びで得た気づきを広めたいと思いました。また、前後の席の方々と一緒に考えることもでき、とても有意義であったという間の時間でした。

6/17(水) 第3回:領域3「総合的な理解～地域活動、父親の教育参画」



株式会社ペンギンエデュケーション
代表取締役 横田 智史 氏



【第3回：参加者の声】

- 子供が生まれ、自分の父母、夫の父母とも、より仲良くなりました。子供を通して、地域の新たなつながりもできています。周りの子育て世代にも、優しく、伝えていきたいです。
- 父親の育児参画は家庭の問題ではなく、少子化問題とも関わっていることを改めて考えさせられました。時代とともに父親も地域も一体となった家庭教育が推進されることを願っております。